

HITACHI

2026/3/5

重層的支援体制整備事業に係る
デジタル化 検討会6報告書

日立製作所

検討会⑥全体タイムスケジュール

AM：オンライン開催

開始時間	時間目安	実施内容
10:00	0:30	オンライン接続時間
10:30	0:05	ご挨拶
10:35	0:10	事業概要説明
10:45	0:10	プロトタイプ概要説明
10:55	0:30	プロトタイプデモ 相談記録PF 人材育成機能
11:25	0:10	今後のスケジュール、必須/任意機能案などの共有
11:35	0:10	質疑応答
11:45	0:05	千葉県 健康福祉部健康福祉指導課 ご挨拶
11:50		閉会

PM：対面開催

開始時間	時間目安	実施内容
13:00	0:05	ご挨拶
13:05	0:10	事業概要説明
13:15	0:10	プロトタイプ概要説明
13:25	① 0:35 ② 0:35	操作体験会 ①相談記録PF ②人材育成機能
14:35	0:10	今後のスケジュール、必須/任意機能案などの共有
14:45	0:10	質疑応答
14:55	0:05	千葉県 健康福祉部健康福祉指導課 ご挨拶
15:00		閉会

操作体験会ご意見まとめ(対面開催)

人材育成機能操作体験 ご意見 (抜粋)

【相談事案の入力方式】

- 相談記録PFに入力されている情報を勝手に読み込んでくれた方が使いやすい。逆に、チャットボットにて入力した事案情報が相談記録PFの方に自動で入力されたらもっと使いやすいそう。
 - 頭の整理のために相談事案は自分で入力したい。
- ⇒利用者により意見が分かれる。

【アセスメント観点】

- 一気に表示されると何から考えたらいいかわからなくなりそう。
- 人材育成という観点で考えると、会話形式のほうが良い。
- いきなりアセスメントではなく、隣にいる先輩に話しかけるような感じでどんな情報が足りていないか聞けると、情報量を抑えることができ、いっぺんにいろいろなことを言われるよりも頭に入りやすそう。(一方で、PoCのような情報を返してくる感じであれば、会話形式でなく1発回答でよいという意見もあり)
- 自分で事案情報+相談したいことを書くとAIが返してくれる、という使い方が良い。

操作体験会ご意見まとめ(対面開催)



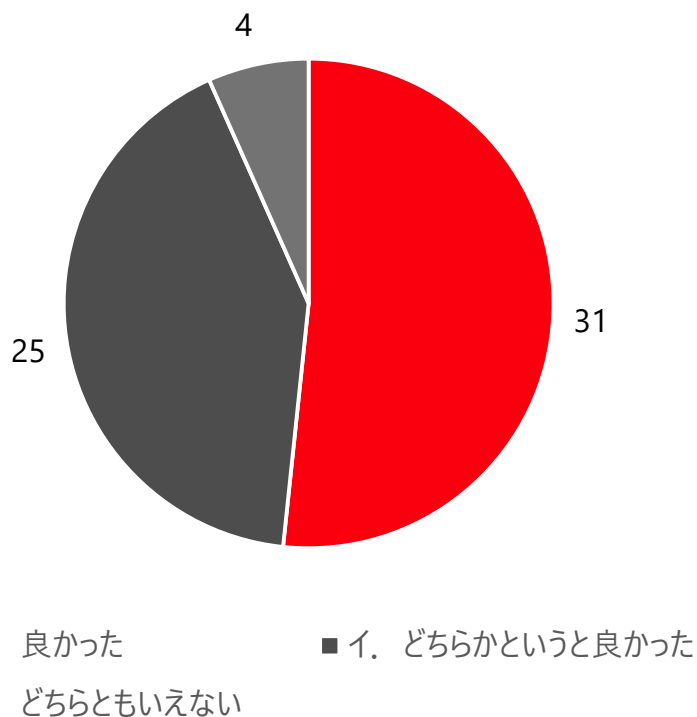
相談記録PF操作体験 ご意見（抜粋）

- ケース管理画面などで他の支援機関の動きが見えるのは嬉しい。
- ジェノグラムを作るのは大変なので、自動生成はとても楽。
- 保留機能は管理者目線からも嬉しい機能。本機能があると今まで見落としていた案件を拾い上げるきっかけになる。
- 支援機関がこのシステムを使ってくれるのかが気になる。使ってもらえず、通知等に気づいてもらえなかったらあまり意味がない。
- 役割分担を一画面で見られると嬉しい。

アンケート結果

事業報告会及び操作体験会について

■ 内容について

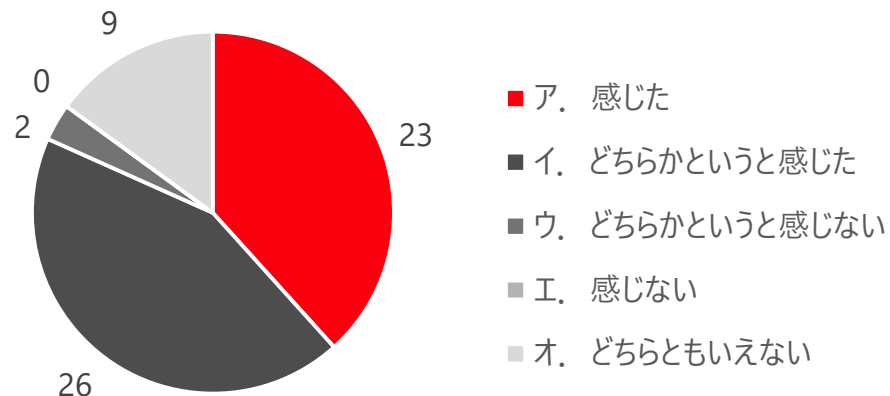


#	選択肢	コメント抜粋
1	良かった	生成AIに依存せず人材育成の視点について検証されている点に安心感を持った。
2		支援者がチームとして連携・協働して支援をするための機能が盛り込まれていると感じた。
3		多くの自治体で実装されると、支援者側の負担は軽くなると感じた。
4	どちらかという良かった	情報共有や相談記録等の作成ができることは、支援をスムーズにできるようになると感じた。
5		報告会を通し、新たな視点で多機関協働事業を見直す機会となった。
6		課題と考えていた情報共有に加えて人材育成まで考えた内容となり参考になった。

アンケート結果

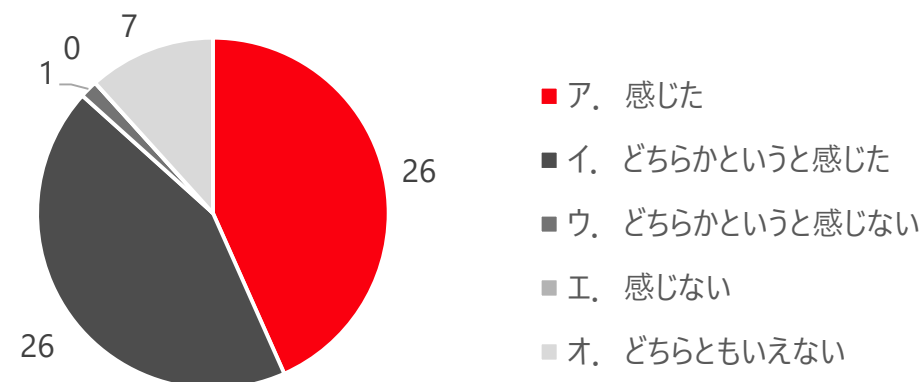
人材育成機能について

■ 多機関協働事業者として、AIの回答内容が人材育成という観点で業務に有用であると感じたか



#	選択肢	コメント抜粋
1	感じた	人事異動等も多い中で、ある程度一貫性を持ったAIでのアドバイス等は有効だと感じた。
2	どちらかというと感じた	AIが答えを提示してくれるのではなく、本人の思考を促すように工夫されていたため。
3	どちらかというと感じない	AIの回答の有効性がわからないため。また、時短を望むあまりAIの回答に流され、育成にならない可能性があるため。

■ 多機関協働事業者として、相談支援記録等のデータを活用することで、人材育成にかかる業務の効率化や人材育成に関する取り組みの質の向上につながると感じたか

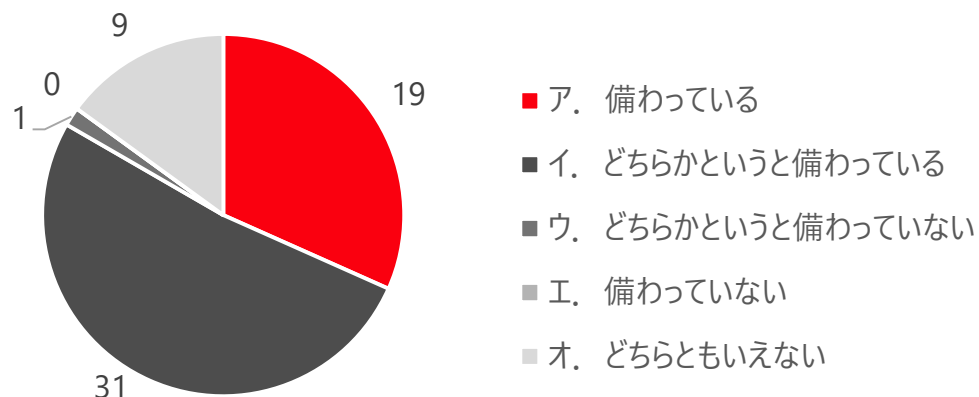


#	選択肢	コメント抜粋
1	感じた	相談支援は属人化しやすく、デジタル化・効率化・平準化が遅れているように感じる中で、過去の蓄積されたデータ等は、相談支援において重要な財産となると思うため。
2	どちらかというと感じた	新規採用職員や新たに配属された職員に先輩職員があまり教える時間を取れない場合でも、自分でできることがあると人材育成の負担も減ると感じる。
3	どちらともいえない	AIが持つ分析傾向による偏りや、担当者がその便利さに頼りすぎ、支援の範囲が狭まる可能性も懸念される。活用には一定の慎重さが求められると感じたから。

アンケート結果

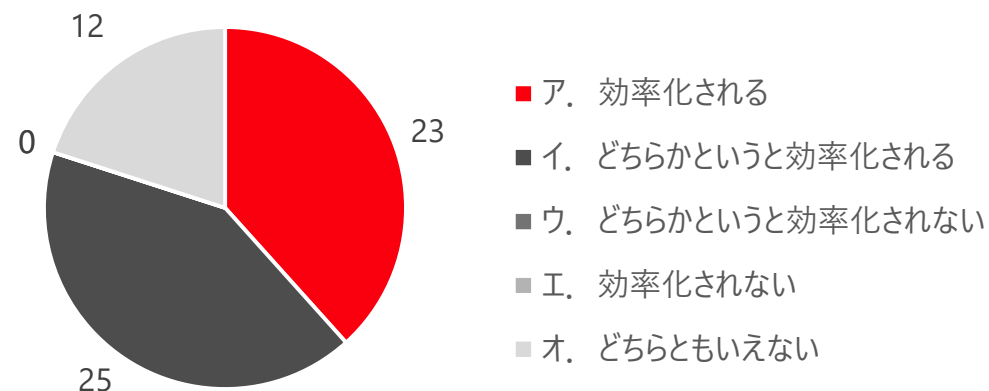
相談記録PFプロトタイプの情報共有機能について

■ 多機関協働事業の業務に必要な機能が十分に備わっていると感じたか



#	選択肢	コメント抜粋
1	備わっている	現状Excelで管理しているため、すべてが向上する。
2	どちらかというと備わっている	限られたスタッフにのみ情報が閲覧できるようシステム上での工夫がなされているため、支援関係機関を通じた共有化が図られる。
3	どちらともいえない	今回の説明だけでは、判断できないため。

■ 本システムを導入することで業務が効率化されそうと感じたか



#	選択肢	コメント抜粋
1	効率化される	ジェノグラムやエコマップの自動作成機能だけでもかなりの省力化になりそう。
2	どちらかというと効率化される	時間のかかるジェノグラムなどの作成が速くなりそう。
3	どちらともいえない	会議の日程調整がシステム内で完結する点についても、調整作業にかけていた時間を削減でき、一定の業務の効率化にはつながると思う。

HITACHI